

基本的  
信頼感

自己  
肯定感

非認知  
能力

# 3歳までに芽が出る、 その子だけの個性

小さな子どものための  
小さな保育園

福井 渉

Fukui Wataru



## はじめに

本書を手にとっていただき、ありがとうございます。

私は横浜市の青葉区・緑区内で、「とろろきつず保育園」という小規模保育園を運営しています。

平成27年度の子ども・子育て支援新制度のスタートと同時に、この小規模保育園をはじめて以来、地域の保育ニーズに応える形で、現在は5園を運営しています。

小規模保育園は一般的な認可保育園と比べると、対象年齢が0〜2歳児までだったり、設備や規模など、さまざまな制約があります。

そのため、わが子の入園先を探す保護者の方からすれば、「3歳でまた保活するのは大変……」「保育園なのに園庭がなくて大丈夫なの?」「保育園なのにたった12人しか園児がないの?」といった不安をもつ方も多く、そもそも小規模保育園に興味すら

ない方もいると感じています。

それは、無理もないことだと思います。

なぜなら、今の大人の方が小さかった頃、園児が園全体で12人しかいない保育園や、ビルのテナントに設置された園庭のない保育園に通った経験をもつ方は、ほとんどいないはずだからです。小規模保育園と言われても、なかなかイメージがわからない方も多いのではないのでしょうか。

実際に、私たちの保育園にこれまで入園されたお子さんの保護者の方で、「保育園入所の一次申請で保留になり、二次申請で入れる保育園を探してはじめて知った」という方もたくさんいました。

私たちからすれば、どんな経緯であれ、園生活をともにするお子さんや親御さんとの出会いはかけがえのないものです。第一希望での入園だったとしても、仕方なく小規模保育園を選んだとしても、当然、そこに変わりはありません。

ですが、私はどこかでもどかしさを感じていました。

それは、**小規模保育園の保育を、少しでも「知って」もらえたなら、その良さに気**

づいてくれる方も多いの、ということですよ。

「家が近いので、念のため見てみようと思って」と、私たちの保育園に見学に来た方のほとんどが、見学後に、入園を希望されています。

もちろん私は、この本で自慢がしたいわけではありません。ましてや大きな認可保育園よりも、小規模保育園の方が優れているなどと言いたいわけでもありません。

ほかにも、3歳で卒園した園児に兄妹が生まれ、今度はまたその子が私たちの保育園に入園する、といったケースもよくあります。一度、私たちの保育園に通ったことのある保護者の方は「下の子も2歳までは小規模保育が良いと思って」と言ってくれたりもします。

また、ここ1〜2年で、少し風向きも変わってきています。あえて**小規模保育園にお子さんを預けたいと考えて見学にくる方の割合が増えている**のです。小規模保育園の存在が、以前より多少は知られるようになったと感じています。

近年、待機児童問題は急速に解消へと向かっています。

しかし、この本を書いている2021年現在、まだまだ保育所に入れずに困っている子育て世帯が多いのも事実です。そんな中でも、自治体が公表している保育所入所の「待ち人数」の内訳を見ると、大きな認可保育園に偏っている一方で、小規模保育園は空きがある、という地域も少なくないようです。

そのような状況の中、私たちが実践する保育を紹介することで、これから子育てを準備されている方や、0・1・2歳のお子さんのおいる保護者の方が、小規模保育園に関する興味や理解が深まれば、少しでもお役に立てることがあるのではないかと考え、筆をとりました。

私たちの保育園では、「小さな保育園」の利点を生かしながら、毎日趣向を凝らして保育に取り組んでいます。特に、徹底してこだわっているのは、**0・1・2歳児特有の発達に**応じた、**子ども一人ひとりの個性により**そう、「**子ども主体の保育**」の方法や環境づくりです。

私たちの保育の考え方や実践をお伝えすることで、日々の育児のヒントや、お子さ

んに対する接し方の参考になればうれしいです。本書の中に出てくる「小さな子ども」とは、3歳までの子どものことと考えていただけたらと思います。

また、大人が決めたルールで子どもたちを動かすような「保育者主導の保育」に疑問をもつ方や、0〜2歳児のための「子ども主体の保育」を目指す保育者の方にも、ぜひ読んでいただきたいです。

本書の構成は次の通りです。

1章では、いま0・1・2歳の小さな子どもたちが、大人になる将来という少し広い視点から、これからの子育てや進路選びで大切なことや、私が考える日本の課題についてお伝えしていきます。

2章では、人としての土台が形成される、3歳までの発達段階のポイントをお伝えし、この時期の子育てで大切にしたい「考え方」や「接し方」をまとめていきます。ぜひ、子どものきもちになって、0・1・2歳児の頭の中を想像しながら、読んでみていただけるとうれしいです。

3章では、0・1・2歳児に特化して運営される「小規模保育園」の特徴や、小さな子どもにとっての利点をお伝えします。また、実際にはどんな保育が行われているのか、私たちの園の保育内容もご紹介していきます。

4章では、私たちの保育園が「小さな保育園」の利点をいかして、子ども主体の保育に取り組む実践内容や考え方について、より具体的にご紹介していきます。実際に通われている園児や卒園児の保護者の方の声も紹介しているので、小規模保育園を知る参考にしていただけたらと思います。

最後の5章では、保育園の選び方について、園見学や下調べの際に見るべき「10のチェックポイント」をまとめました。保育園を選ぶ際の参考にしてみてください。

この本を通して、子どもの「個性」が尊ばれる子育て社会への願いを、多くの方々と共有できたら幸いです。



注)本文中の表記について

○小規模保育園／小さな保育園／認可保育園／大きな保育園

・小規模保育園は、厳密には地域型保育事業の一つとして、小規模保育事業を指しています。本書では、読者に分かりやすいように、「小規模保育園」で統一しています。

・小さな保育園は、小規模保育園とほぼ同義で用いていますが、制度上の小規模保育事業を指す小規模保育園と分けて、人数規模や運営形態の特徴として小さい保育園として「小さな保育園」と表記しています。

・認可保育園は、認可保育所のことを指しています。本書では、読者の方にも分かりやすいよう、「認可保育園」で統一しています。

・大きな保育園は、認可保育園とほぼ同義で用いていますが、制度上の認可保育所を指す認可保育園と分けて、人数規模や運営形態の特徴として大きい保育園として「大きな保育園」と表記しています。

・小さな保育園、大きな保育園は、いずれの表記も特定の保育園を指すものではなく、概念として示しているものです。

○保育所保育指針

・本書で記載する「保育所保育指針」は、最新版（平成29年3月31日厚生労働省告示第117号）を指しています。

1

これからを生きる小さな子どもの「進路」

小さな子どもが大人になる20年後はどんな世界？ 16

A1時代に求められる、0から1を生むチカラ 18

その子にしかない「個性」が未来をきりひらく 20

個性で進路を選ぶ時代へ 23

将来の幸せのカギをにぎる「自己肯定感」 25

2

個性を伸ばす3歳までの過ごし方

3歳までの過ごし方が大切な理由 30





# 3



## 3歳まで専門の小さな保育園

- 0歳は「基本的信頼感(アタッチメント)」を育む 32
- 1・2歳は「自己肯定感」「非認知能力」の根っこを育む  
「ダメ！」がNGな理由 39
- 小さな子どもにしつけは必要？ 44
- 個人差に目を向ける 47
- 子どもも立派な「一人の人間」 50
- 実はすごくむずかしい「ほめ方」 53
- 理想の保育園ってどんなところ？ 58
- ほとんど知られていない「小規模保育園」の利点 62
- 集団規模が小さい 64
- 環境自体が小さい(家に近い環境) 69
- 異年齢保育 年齢のちがう子どもが育ち合う 72
- 0・1・2歳児保育の専門性 74





# 4

## 子どもの個性を尊ぶ 十人十育 の実践

- 給食室が保育室に隣接(保育と給食の連動) 77
- 保育者・ご家庭との緊密な連携 79
- 小さな保育園でのあそび(活動) 81

- さまざまな体験が得られる戸外活動 82
- 自由にのびのびと過ごす室内あそび 84
- 自己肯定感・非認知能力の根っこを育む運動あそび 87
- たべることがたのしみになる食育活動 89
- 小さな子どものための行事 90

保育園の中で大切にしたい「一人ひとりのために」 94

子どものきもちが最優先 97

園児一人ひとりの育ちに、家庭とともによりそう 103

全員保育——どの保育者も全園児の個性や、その日の様子を理解していく 107

子どもが安心して自己を発揮できる「雰囲気」 111





# 5

## 子どものきもちになって保育園を選ぼう

園児に合わせて個別にアレンジする食事 115

なにげなく使う言葉を「子ども主語」に置きかえる 119

私たち大人側が子どもに合わせる 122

エピソード1 お散歩途中で一人の園児が立ち止まったら、どうする？

123

エピソード2 鍵でガチャガチャとあそんでいる子どもの行動をどう受け止める？

127

エピソード3 くつ下を自分ではける子が「はかせてほしい」と言ったら、どうする？

132

エピソード4 忙しい時に子どもが「だっこしてほしい」と言い出したら、どうする？

136

エピソード5 お昼寝でなかなか寝られない子がいたら、どうする？

138

子どもにとって保育園はどんな場所だろうか？

146

3歳までの保育園選び10のチェックポイント

149

チェックポイント1 園に入った瞬間の「雰囲気」を感じ取ってみよう

150

チェックポイント2 あそびや活動の「集団人数」に着目してみよう

152

チェックポイント3 子どもが落ち着く「居場所」があるか見てみよう

154



チエックポイント4 保育士の声のトーンと顔つきに注目してみよう

チエックポイント5 先生が「動き回っていないか」に着目してみよう

チエックポイント6 園の「求人情報」に着目してみよう

チエックポイント7 園と保護者間での「情報共有ツール」に注目してみよう

チエックポイント8 給食に注目してみよう

チエックポイント9 絵本やおもちゃがどのように扱われているかに注目してみよう

チエックポイント10 園内に「季節感」があるか見てみよう

子どもに合わせて進路を考えるチャンス

おわりに 179

158 156

160

163

166

169

172

175

